

E2E 自動運転開発のための大規模 GPU インフラ基盤構築で チューリングと資本業務提携

BIPROGY は、完全自動運転の実現を目指す Turing 株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役：山本 一成氏、以下 チューリング）に出資し、自動運転開発と社会実装の加速を目的に資本業務提携を行いました。

本業務提携により、BIPROGY グループはチューリングとの連携を強化し、カメラ情報をもとに認識・判断・車両制御を一気通貫で担う End-to-End (E2E) 自動運転の開発・運用を支える大規模 GPU ^(注1) インフラ基盤の構築を進め、中長期的な自動運転サービスの社会実装を目指します。



【資本業務提携の目的】

自動運転市場では、海外を中心に E2E 型のアプローチが技術進化の中核となっています。そのため、その開発を支える大規模計算基盤は開発スピードや競争力に大きく影響しています。日本国内においても、こうした基盤整備を通じて、E2E 自動運転技術の開発力を底上げすることが喫緊の課題となっています。

E2E 自動運転開発の国内先行プレイヤーであるチューリングとの業務提携により、E2E 自動運転開発のために必要となる大規模 GPU インフラ基盤の構築を進めるとともに、中長期的な E2E 自動運転の社会実装を加速する取り組みについても連携し、検討していきます。

【資本業務提携の概要】

■ 大規模 GPU インフラ基盤の構築

E2E 自動運転システムの開発に必要な大規模 GPU インフラ基盤の構築を、チューリングと連携して進めます。大量データによる E2E モデル学習やシミュレーション評価、課題の発見・改善までのサイクルを高速化し、E2E 自動運転開発の加速をサポートします。

■ E2E 自動運転の社会実装の加速

E2E 自動運転の最先端技術を保有するチューリングと、これまで自動車メーカーの支援を通じて培った BIPROGY グループの知見（自動運転の安全性評価やセンサーシミュレーションなど）を組み合わせ、日本国内における E2E 自動運転の社会実装に向けた取り組みの検討を進めます。

【今後の取り組み】

BIPROGY は、チューリングとの連携のもと、大規模 GPU インフラ基盤の構築を進めるとともに、E2E 自動運転システムの開発・運用の効果検証における連携についても協議を行う予定です。また、本取り組みで得られた知見は、今後の普及が予想されるフィジカル AI ^(注2) を支えるインフラ基盤の検討に活用するとともに、自動車以外の領域における次世代モビリティの社会実装にも取り組みます。

以上

※注1：GPU（Graphics Processing Unit）

画像や映像の処理に特化した演算装置

※注2：フィジカル AI

カメラやセンサーで現実世界の状況を認識・理解し、人間のように自律的に行動する AI 技術

■チューリングについて

商号：Turing 株式会社

設立：2021年8月20日

所在地：東京都大田区平和島6丁目1-1 東京流通センター物流ビルA棟 AE2-1-2

代表者：代表取締役 山本 一成

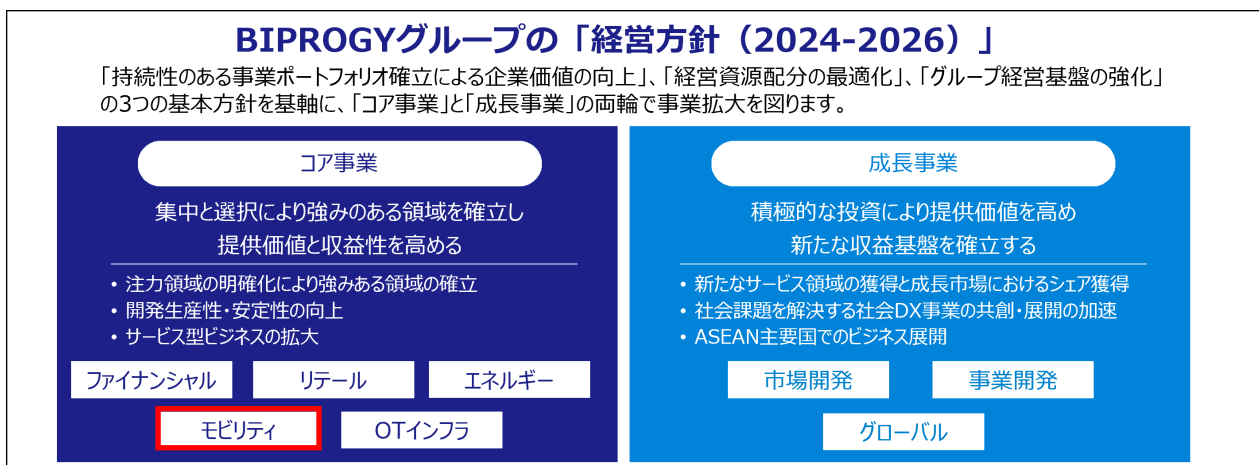
<https://tur.ing/>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/



【コア事業での取り組み】

BIPROGYグループが経営方針（2024-2026）で掲げるコア事業戦略として、五つの注力領域を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「モビリティ領域」における取り組みと位置付けています。

BIPROGYグループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、モビリティ産業のさらなる発展を支援し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGYグループ経営方針（2024-2026）

<https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf>